

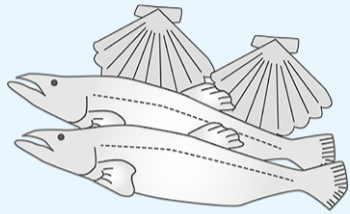
まちの可能性を実感し、未来を拓く市政

新規 水産資源増養殖実証実験・研究事業費補助事業 (80万円)

・安定生産技術を確立するため、独自に増養殖事業を行っている民間企業に対し、補助を行うもの。

新規 水産加工経営安定化資金利子補給事業 (715万円)

・北海道中小企業総合振興資金(経営環境変化対応資金「原料等高騰」)を借り入れた水産加工工場等に対し、利子補給を行うもの。



みんなが共感し合う市政

新規 病児保育施設建設事業費補助事業 (2,600万円)

・子育てをしながらでも安心して就労できる環境を整備するため、病児保育の実施に向けた施設整備の補助を行うもの。

拡充 妊婦健康支援事業 (2,308万1千円)

・国の標準的検診回数14回に市の独自支援策として2回を追加し、最大16回分の健診に対し支援するもの。

拡充 特定不妊治療費助成事業 (150万円)

・5年間の範囲で5回までの助成を年数制限なしで6回まで拡充し支援を行うもの。

拡充 乳幼児等・ひとり親家庭等・重度心身障害者医療費助成事業 (1,811万3千円)

・乳幼児等医療費助成事業の医療費無料化の対象範囲を中学生まで拡大し、支援するもの。



平成28年度 稚内市の主な事業

市では、経営方針に基づき、政策推進の基本姿勢として4つの基本方針の達成と稚内市総合計画に掲げる「人が行き交う環境都市わっかない」の実現に向けて、様々な事業に取り組みしていきます。

この中で、更なる市民生活の充実をめざし、新規に行う事業や、既存事業を拡充するものについて、主要なものをピックアップし紹介いたします。(なお、新年度予算については先月号(4月号)に掲載しています。)

安心を実感できる市政

新規 年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業 (1億3687万2千円)

・賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得者の障害・遺族基礎年金受給者を対象に3万円の給付金を支給するもの。(65歳以上)

新規 防災地理情報システム導入事業(災害対策事業) (268万6千円)

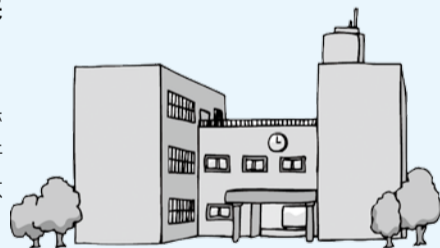
・災害時の市民の安全を迅速に対応・確保するため、防災部門単独のシステム構築を整備するもの。

拡充 学校耐震化事業 (3億5412万5千円)

・実施設計:富磯小学校、南中学校、潮見が丘小学校
・改修工事:潮見が丘小学校、声問小学校、港小学校、天北小学校

拡充 稚内南小学校整備事業 (3億9,539万9千円)

・平成27年度に実施設計が完了し、平成28年度から平成31年度までの事業として、小学校の整備を行う。平成28年度:校舎の一部解体/屋内運動場建設 他



賑わいを実感できる市政

新規 観光スポットの無線LAN環境整備事業(観光活性化促進事業) (1,655万円)

・国内外の観光客の受入態勢の強化を図るため、観光拠点に公衆無線LAN(Wi-Fi)の整備を行うもの。



新規 南極観測60周年記念事業費補助事業 (200万円)

・南極観測が60周年を迎え、本市と南極とのつながりを再認識してもらうため各種記念事業を行うもの。

新規 フルマラソン大会開催準備事業 (253万3千円)

・平成30年度のフルマラソン開催をめざし、今年度から事前準備を開始するもの。



「自然災害の脅威」

今回、派遣3年目を迎えた本市職員「西間君」の激励はもちろん、復興途上のまちの様子も見たくて、他の用務をこなしながら、一度もお邪魔したことなかった若手県大船渡市に行ってきました。

丁度、大船渡を訪問している最中に、今回の「熊本地震」が発生し、自然災害の脅威への対応の難しさを、再認識するとともに、平成23年に東日本大震災が発生し、その後の「がれき処理」への対応や、職員の応援派遣など、この災害を風化させないための、我がまちの取り組みについて振り返る出張となりました。

大震災発生後一年ほどして、岩手県のいくつかの自治体の復興状況を視察するため、環境省や北海道の担当者の方々と訪れ、遅々として進んでいない状況や、放射能汚染の話題に打ちのめされた感じの、岩手県の職員の姿を見るたびに「絆って何なんだろ」と、自問自答したことを覚えています。

でも「西間君」は実に生き生きとして、大船渡の復興に取り組んでおり、大船渡の関係者の皆さんからは、口を揃えて彼の努力を讃えていただきました。そして、彼の活躍している姿を見て、改めて、「絆」は努力して作るものであり、派遣できた意義を強く感じました。復興途上の皆さん、そして「西間君」、ともに頑張ろう!

稚内市長 工藤 広

こんにちは市長です。

No.31

